

「学問する心と力」そして「問いを共有する友」を

学 長 森 下 宏 美

新入生のみなさん、北海学園大学へのご入学、おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎いたします。また、今日まで新入生のみなさんを暖かく見守り、お支えくださったご家族、関係者のみなさまにも、心よりのお祝いを申し上げます。

北海学園大学の前身は、1950年創立の北海短期大学ですが、さらに遡れば、その歴史は、今から139年前、1885年に設立された北海英語学校にまで遡ります。北海道の若者に、将来の社会の担い手となるにふさわしい高度な教育を授けたい、この情熱によって北海英語学校は生まれ、歩みを重ねてきました。本学は、このような先人たちの意志を受け継ぎ、70有余年にわたって北海道における高等教育を担ってきました。卒業生は約9万8千人に及び、その活躍の場は各界に広がっています。文字どおり北海道に根ざした大学として、地域社会の担い手を数多く輩出するとともに、多分野における豊かな才能を育んできました。その歴史と実績に、私たちは大きな誇りを持っています。本日、新たな可能性に充ちたみなさんを、本学にお迎えすることができましたことは、私たち教職員にとって何よりの喜びとするところです。

みなさんは、コロナ禍による行動制限を余儀なくされた約3年の間、不安と不自由を感じながら、懸命に努力し、目標を実現してきました。その一方で、コロナ禍のためにあきらめざるを得なかったこともあったに違いありませんが、それを補って余りあるほどの人生の糧を、これからの大学生活の中で手に入れてほしいと願っています。

大学で得ることのできるものはたくさんあります。さまざまな知識や能力を身につけることで、新しい何かができるようになります。大学の内外における人との交流が、新しい経験へと導いてくれます。そして、なによりもみなさんに得てほしいのは、「学問する心と力」、そして「問いを共有する友」です。

世界や社会、人間に関して不思議に思うことや分からないことは数多くありますが、単なる疑問のまま放置されがちです。しかし、それらをひとつの「問い」にまで高めてくれるのが学問です。どのようにしたら答えにたどり着くことができるのか、そのための方法を見出し、答えに向かって研究せずにはいられなくなったとき、それは単なる疑問から「問い」に変わります。みなさんには、大学での学びを通じて、自分なりの「問い」を持ち、自分なりの答えを導く研究の営みを、大いに経験してほしいと思っています。いま、「自分なりの答えを導く」と言いましたが、しかしそれは、決して独りよがりの答えであってはなりません。大事なことは、

他者が納得する理由や根拠を示しながら、他者の理解を得られるように自分の答えを導くことです。何故このことが大事かと言いますと、そのようにして導かれた答えは、もはや、あなただけのものではなく、人々に共有される知恵となり、新しい可能性を切り拓く社会の力となるからです。みなさんには、この「学問する心と力」を是非とも養っていただきたいと思えます。

そしてもう一つ、みなさんに得てほしいものは、「問いを共有する友」です。私たちは人生のいろいろな段階でさまざまな友人と出会いますが、大学時代においてこそ出会いたいのは「問いを共有する友」です。自分と同じ「問い」に取り組む仲間、あるいは、それぞれの「問い」に向き合う努力に共感し合える仲間のことです。世界や社会、人間に関する問いに、完全な答えを出すことは難しいことです。まして、一人の努力で成し遂げられることはありません。そこには、「問いを共有する友」が必要です。そのような友と是非出会ってください。

いまわたたちが暮らす社会は、大きな転機を迎えています。少子・高齢化、人口減少、地球温暖化の進行によって、社会の存立基盤そのものが揺らいでいます。また、ICTやAIの発達、グローバル化の進展は、私たちの暮らしに大きな利便をもたらす一方で、例えば、生成AIの発達による情報の性質の変化など、新たな問題を生んでいます。このような現実に対処し、よりよい社会を築いていくためには、新しい知恵の創造と、その知恵を活かす人々の共同が必要です。そこに、学問の果たす大きな役割があります。学問は特別な人だけがやるものではありません。みなさんには、是非、学問をも生涯の友としていただきたいと思えます。

本学は、開学以来、自主独立の「開拓者精神」を建学の精神とし、研究・教育の諸活動を通して、人類の福祉と北海道・日本・世界の未来形成に寄与することを使命としてきました。そして、本学は、「常に真理を探究する構えと専門の学知に支えられた高い道義性と知性を兼ね備え、自己のキャリアの持続的発展と他者との自由な連帯を通し、未来を切り拓くパイオニアの育成に努める」ことを教育の目標としています。このような建学の精神のもとに行われる本学での学びが、みなさんのよき人生、そしてよりよき社会の実現につながることを願い、学長としての式辞といたします。